

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
61062 61028	生徒・進路指導論 生徒指導論（進路指導含む）	2単位 後期	2	講義	芳澤 拓也 松田 盛雄（客）

### ■テーマ 生徒指導及び進路指導の理論や具体的方法を学ぶ

※この授業は旧「教育職員免許法施行規則」に定める「教職に関する科目」、新「教育職員免許法施行規則」における「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」であり、教職必修科目である。

### ■授業概要

学校現場で発生する多様な問題に対し、その背景要因を分析して具体的な解決方法を考え、他の教員及び関係機関と連携しながら組織的に対応するために必要な基本的知識や技術を学ぶ。家族を背景要因とした問題や学校現場での生徒集団の関係性から発生する問題などに対し、教師はどう援助・指導するのか、また、自立へ向けて職業観や生き方を模索する青年期をいかに支援できるか、その方法論を学び、実践できる力量を育成する。また、生徒指導及び進路指導・キャリア教育に関して、具体的な事例検討や指導案作成などを通して基本的知識とその活用方法について学ぶ。

### ■到達目標

- ・学校で発生する多様な問題に対応する生徒指導上の基本的理論を理解し、課題への具体的対応方法を身につける。
- ・多くの事例に即して学び、多様な個性の生徒に対応できる柔軟な指導力や実践力を身につける。
- ・社会的・職業的自立に向けて生徒個々の資質・能力を育み、進路選択ができるよう支援するキャリア教育の指導方法を身につける。
- ・進路指導・キャリア教育の視点に立った授業、活動、ガイダンス、カウンセリングのあり方を学び、これらを組織、計画、実践、評価する考え方を理解する。

### ■授業計画・方法

1. ガイダンス：「生徒指導及び進路指導」について（担当：松田盛雄、芳澤拓也）
2. 生徒指導及び進路指導の意義と内容、及び教育相談との関係（担当：松田盛雄、芳澤拓也）
3. 問題行動の理論と実際・対応①（生徒の不適応行動：不登校と引きこもり）（担当：松田盛雄）
4. 問題行動の理論と実際・対応②（いじめの問題）（担当：松田盛雄）
5. 問題行動の理論と実際・対応③（基本的生活習慣と非行）（担当：松田盛雄）
6. 問題行動の理論と実際・対応④（学校不適応と発達障害）（担当：松田盛雄）
7. 生徒指導の実際—対人関係能力を育てる①（自尊感情を高める）（担当：松田盛雄）
8. 生徒指導の実際—対人関係能力を育てる②（自己主張の仕方：アサーショントレーニング）（担当：松田盛雄）
9. 生徒指導の実際—対人関係能力を育てる③（問題解決の仕方：ステップ&ケース）（担当：松田盛雄）
10. 揺れる学校から社会への移行と「キャリア教育」「職業教育」（担当：芳澤拓也）
11. カリキュラムとしての「キャリア教育」—職業に関する体験活動を軸としてキャリア教育の目標、計画、評価、ガイダンス—（担当：芳澤拓也）
12. キャリア発達の視点と「キャリア教育」（担当：芳澤拓也）
13. 多様化する卒業後の進路・生活と「キャリア教育」—労働者と法—（担当：芳澤拓也）
14. 多様化する卒業後の進路・生活と「キャリア教育」—やりがいの搾取・就労1年目の壁—（担当：芳澤拓也）
15. 授業のまとめ及び期末試験（担当：松田盛雄、芳澤拓也）

### ■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・教育心理学を履修済みであることが望ましい。
- ・講義に関する資料や教材は可能な限り前の授業で配布するので、資料を予習してから講義に参加すること。
- ・事例討議などグループワークを多く取り入れるので、議論には積極的に参加すること。
- ・課題レポートを科するので、指示に従って期日までに提出すること。

### ■成績評価の方法・基準

□**方法** 評価は、平常点（20%）、課題レポート（40%）、期末試験（40%）などを総合的に判断して行う。平常点は授業への参加状況や参加意欲で評価する。課題レポートはコンピューターで作成し提出する。

□**基準** 「到達目標」を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

### ■教科書・参考文献（作品）等

□**教科書**：教科書は指定しない。教材は講義の際に配布する。

□**参考文献**：文部科学省『生徒指導提要』、河野壮子他編著『生きる力を育む生徒指導』北樹出版、河村茂雄著『生徒指導・進路指導の理論と実際』、図書文化社